

法令や施策、人物など、男女共同参画に関する情報は多岐にわたります。そこで探し方の一助として主な資料に簡単な解説のコメントをつけてご紹介します。特に表記のない資料は〔主な所蔵場所〕記載のフロアにございます。閉架資料の資料をご希望の方は、職員までお申し付けください。ご不明な点につきましては、司書までお気軽におたずねください。

■白書・統計・レポート類■〔主な所蔵場所：本館1F〕

<p>『男女共同参画白書』 （内閣府男女共同参画局編 年刊）〈367.21/36〉</p>	<p>「男女共同参画基本法」に基づき作成された年次報告書。様々な分野における男女共同参画について、現状と施策がまとめられている。関連法律、条約や統計等も収録。</p>
<p>『女性白書』 （日本婦人団体連合会編 ほる ぷ出版 年刊）〈367/92〉</p>	<p>毎年一つのテーマを切り口に、日本や世界における女性の現状と課題について様々な論点から解き明かす。その年に起こった女性関連の出来事の年表や統計類も収録。</p>
<p>『男女共同参画社会データ集』 （三冬社編集制作部編 三冬社 隔年刊）〈367.21/171〉（公開書 庫）</p>	<p>男女の地位の平等感、家事や育児の実態、企業の女性登用など、「男女共同参画社会」に関する調査・統計データを収録。国際比較データも見ることができる。</p>
<p>『女性の暮らしと生活意識データ集』 （三冬社編集制作部編 三冬社 隔年刊）〈365.5/222〉</p>	<p>働く女性の実情、家計収支、ネットショッピングの利用実態、将来への備え、人生の満足度など、ライフスタイルや消費を中心に、女性の生活に関する調査・統計データを収録。</p>

■辞書・事典など■〔主な所蔵場所：本館2F〕

<p>『マクミラン版世界女性人名大辞典』 （ジェニファー・アグロウ編 国 書刊行会 2005年）〈280.33/7〉</p>	<p>社会・政治・文化・学術など、様々な領域で活躍してきた女性約2,000人について、生涯の事蹟を収録。巻末には、さらに情報を得たい時のための参考文献や、活動領域に分けて引ける「分野別索引」がある。</p>
<p>『現代日本女性人名録 新訂』 （日外アソシエーツ 2001年） 〈281.03/356A〉（閉架資料）</p>	<p>現代において国内外で活躍する日本人女性、日本で活躍する外国人女性約18,000人を100の専門分野別に収録した人名事典。職業や経歴、受賞歴などを掲載。</p>
<p>『西洋人物レファレンス事典 女性編』 （日外アソシエーツ 2016年） 〈280.03/1〉</p>	<p>紀元前から19世紀末までに生まれた西洋の女性が、どの事典にどんな見出し表記で掲載されているかがわかる事典索引。活動年代やプロフィール、各事典に記載された生没もわかるようになっている。</p>
<p>『日本人物レファレンス事典 女性編』 （日外アソシエーツ 2015年） 〈281.03/357〉</p>	<p>古代から大正期までの日本の女性が、どの事典にどんな表記・読みで掲載されているかがわかる事典索引。人物特定に必要なプロフィールも掲載されている。</p>

『世界女性史大事典』 (L. ブレイクマン編 日外アソシエーツ 1999年) <367.2/485> (本館1F)	欧米を中心に、歴史における女性の役割や活躍、女性をめぐる動きを年代順に追うことができる事典。付録として、女性にまつわる「神話と伝承」、女性の地位向上につながった出来事に関する「史料集」を収録。
『日本女性史事典』 (女性史事典編集委員会編 新人物往来社 2002年) <367.21/545A> (閉架資料)	女性が創ってきたものを重視する方針で作られた事典。原始から戦後まで、日本史における女性たちの人名、作品、労働、習俗、事件等に関する語、女性史と関わりの深い地名、学術用語などを幅広く収録。
『日本女性肖像大事典』 (永原和子監修 日本図書センター 1995年) <281.03/322>	古代から現代まで、日本で活躍した女性約800人について、肖像画・肖像写真とともに紹介。巻末には、年表、女性人名の移り変わり、女性史用語集なども掲載されている。
『日本女性運動資料集成』(全10巻・別巻1) (鈴木裕子編集解説 不二出版) <367.21/43/1-11> (1F公開書庫)	自由民権期以降の政治、生活・労働、人権、戦争などに関する女性運動についての、パンフレットやビラ、機関誌などの資料を収録。別巻には総目次、人名・団体名・執筆者名索引、人名事典を収録。
『日本語ジェンダー辞典』 (佐々木瑞枝著 東京堂出版 2009年) <814.9/142> (閉架資料)	日本語におけるジェンダー表現にまつわる語句についての辞典。言葉の意味だけでなく、小説や新聞・雑誌などでどのように使われているかも交えて解説されている。

■関係機関・インターネット情報源■

内閣府男女共同参画局	『男女共同参画白書』の最新刊及びバックナンバーが掲載されているほか、「基本データ」のページには、男女共同参画に関する調査・国の計画・国際関係データ等の掲載がある。(https://www.gender.go.jp/)
女性就業支援バックアップナビ (一般財団法人女性労働協会)	「女性労働関連情報」のページに、女性労働に関する法令、統計、女性関連施設についてのリンクがある。 (https://joseishugyo.mhlw.go.jp/)
独立行政法人国立女性教育会館	「調査研究」のページに、女性や男女共同参画に関する調査の掲載がある。女性情報ポータル「ウイネット」では、女性に関する統計データや、レファレンス事例集、女性関連施設などを調べることができる。 (https://www.nwec.jp/)
かながわ男女共同参画センター 「かなテラス」	男女共同参画社会の実現を推進する県域の拠点施設。「資料・交流コーナー」には国や自治体が発行する男女共同参画などに関する資料や、女性関連の専門図書と参考図書など約9,000冊がある。 (https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2t/top.html)

(参考資料) 国立国会図書館リサーチ・ナビ(https://mavi.ndl.go.jp/jp/guides/post_858.html) 「女性・ジェンダーについて調べる」

❖「男女共同参画関連図書」について❖

「男女共同参画関連図書」は、女性問題、女性労働や女性史・伝記、男女共同参画社会やジェンダー、人権等に関する本です。これらの資料は、「県立かながわ女性センター」の所蔵資料でしたが、同センターの終了に伴い、県立図書館に譲渡されました。現在は、県立図書館にて継続して収集を行っています。

「男女共同参画関連図書」のうち、1989年以降の図書には、ラベルの1段目に緑色のシールを貼付して区別しています。1989年以前のもは「かながわ女性センター旧蔵資料」としてコレクションにしています。このほか、同センターからは「山川菊栄文庫」「旧労働省婦人少年局資料」「旧国鉄協同組合婦人部資料」「女性雑誌創刊号」という特別コレクションも譲渡されています。

《編集発行》2023.1.6改訂 神奈川県立図書館調査閲覧課

〒220-8585 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2 Tel045-263-5900 Fax045-241-0985